

街を

彩る

人々

そもそもこのお店を始めようとしたきっかけは、お客さんの笑顔を見たいと思ったから。特に家族の笑顔、親子の笑顔を見たい、そうした笑顔を作るお手伝いがしたい、それが原点です。

ですから、お店に置く商品も、まずは笑顔を作るかという点から考える。そこからブレることはありません。単にモノを賣うためのお店ではなくて、ここは笑顔になつてもらおうためのお店。商品は笑顔を作るための手段なんです。

以前、全国展開するチェーン店に勤めていました。数字だけを追いかける生活でした。でも、体を壊しちゃって。その時、自分を見つめ直したんです。本当は、何がしたいのかって。

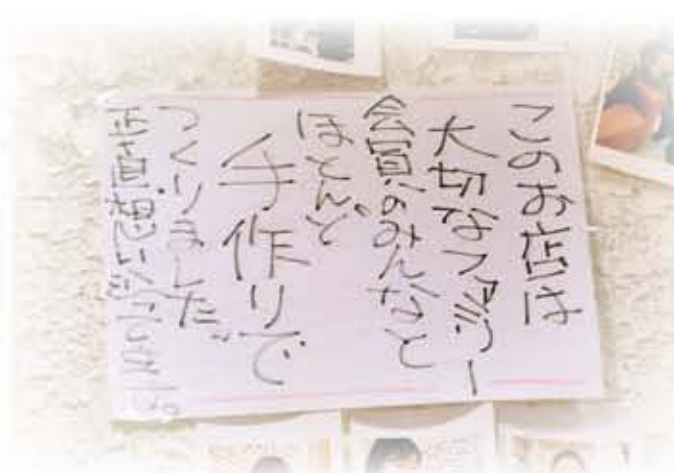
そんなとき考えたのが、美家のことでした。うちの美家、洋服屋さんです。洋服屋って、お客さんとのふれあいというか、コミュニケーションをとることも大切にする。そんな親の姿を見ながら



笑顔創造店舗 COSUCOJI

店主 小杉 光司 氏

さいたまに元気をくれる人を紹介するコーナー。
今回は、北浦和に2店舗を構える「笑顔創造店舗 COSUCOJI」の店主、小杉光司氏のお話を聞きました。



小杉光司氏プロフィール

1973年、埼玉県吹上町生まれ。
現在は、妻と娘と、北本市に在住。

育ったことが、自分にも影響していたんでしようね。モノを売ることで、人間関係を築くことができるって素晴らしいな。

いま、ネットでも、モノを賣うことはできますよね。じゃあ、お客さんは何のために、わざわざお店に足を運ぶのか。それは、「ふれあい」が求められているからなんじゃないかな。

現代は、子育てが大変な時代だけとお母さんたちが、愚痴をこぼすだけでもいい。「こ」に来て僕たちとふれあい、少しでも肩の荷を降ろしてくれれば、そうすることで、親が笑い、子どもも笑い、家族みんなの笑顔が生まれる。家族の笑顔を作るお手伝いがしたい。

こんな考え方は、変わってるかもしれませんが、もちろん商売には、冷静に計算する部分も必要でしょう。でも、社会への貢献も必要だと信じています。そんな考えが、小売業で当たり前になつてほしい。そういうふうには、社会を変えたい。

「お客さんの笑顔を作る」と、それが私の社会への貢献だし、自分の生きている意味だと考えています。その意味で、自分にとって、仕事と人生は一体なんです。

